

生活単元学習指導略案

令和2年2月7日金曜日2校時
中学部1年 男子5人 計5人
指導者 村岡 綾(CT) 中村 寛治(ST1)
瀬戸 祥太(ST2)

1 単元 「幼児とあそぼう～楽しいおもちゃづくり～」

2 本時の学習(19/20)

(1) 全体目標

幼児との交流の様子の動画や写真を見ることで、自分たちが作って改善した玩具を評価して、その有効性に気付いたり、幼児への適切な関わり方について考えて伝えたりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 幼児が喜んで遊ぶ姿や玩具を改善したところへの反応を手掛かりに、自分たちの作った玩具を評価して良かったところやその理由を伝える姿 <思考・判断・表現, 主体性>
- ② 自分や友達の幼児への言葉の掛け方や働き掛けの仕方に気付き、幼児への適切な関わり方を考える姿 <思考・判断・表現, 人間関係>

(3) 個人目標

生徒	個人目標
A. R (1年, 男)	幼児との交流の様子の動画や写真を見ることで、交流時の自分や幼児の気持ちのイラストや自分が良いと思う幼児との関わり方のイラストを選んで教師に伝えることができる。
O. R (1年, 男)	幼児との交流の様子の動画や写真を見て振り返ることで、自分たちが作った玩具を評価して有効性やその理由を伝えたり、幼児への適切な関わり方について考えて自分の言葉で伝えたりすることができる。
K. M (1年, 男)	幼児との交流の様子の動画や写真を見ることで、自分たちが作った玩具を評価して良かったところを見つけて伝えたり、幼児への適切な関わり方を選択肢の中からイラストや言葉を選んで伝えたりすることができる。
T. K (1年, 男)	幼児との交流の様子の動画や写真を見ることで、自分たちが作った玩具を評価して良かったところを伝えたり、選択肢を参考にしながら幼児への適切な関わり方に気付いて言葉で伝えたりすることができる。
F. Y (1年, 男)	幼児との交流の様子の動画や写真を見ることで、自分たちが作った玩具の評価をして良かったところやその理由を伝えたり、友達の幼児への適切な関わり方に気付いて自分の言葉で伝えたりすることができる。

(4) 実際【①, ②…は授業で目指す姿(資質・能力)の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10)	1 始めの挨拶をする。 2 前時を振り返る。 3 本時の学習を話し合う。 幼児のおもちゃへの反応や自分たちの関わり方はどうだったかな？	<ul style="list-style-type: none"> 幼児と交流した写真を提示することで、改善した玩具を使って交流したことを思い出し、振り返る活動につなげることができるようにする。 絵カードを用いることで、楽しかった、頑張ったなどの交流時の自分の気持ちを振り返ることができるようにする。 振り返りのポイントを提示することで、幼児の玩具への反応や、幼児との関わり方を意識して見るができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の幼児との交流の写真 おもちゃ作り表 学習計画表 「楽しかった」カード 「頑張った」カード 振り返りのポイント掲示
展開 (35)	4 交流の様子動画や写真で、振り返りポイント①「幼児のおもちゃへの反応」を振り返る。 (1) 動画や写真を見る。 (2) 振り返る。 ア 自分でおもちゃ作り表(プリント)に書きながら振り返る。 イ ペアで話し合いながら振り返る。 ・A.RとO.R(ST1) ・T.KとF.Y(CT) ・K.Mと(ST2) ※ K.Mは、A.RとO.Rのペアの話し合いにも入る。 ウ おもちゃ作り表(掲示)に記入して発表する。 5 交流の様子動画や写真で、振り返りポイント②「幼児への関わり方」を振り返る。 (1) 動画や写真を見る。 (2) 発表しながら振り返る。 (3) 幼児への適切な関わり方についてまとめる。	① 幼児の玩具への反応については、喜んで遊んでいた、遊べていなかった、つまらなそうだったという選択肢だけでなく、幼児が楽しんでいたり改善した点が有効であったか◎, ○, △で評価するようにし、その理由を確認することで、自分たちの作った玩具の有効性に気付くことができるようにする。 ・まず、自分で考えて気付いたことを書き、次にペアで伝え合って考えを広げ、最後に発表を聞くことで、友達の意見を受け入れて更に考えを深めることができるようにする。 ・おもちゃ作り表に書き入れることで、玩具の改善の経緯を踏まえて振り返ることができるようにする。 ・ペアで振り返る際は、タブレット端末を自分でも操作して交流時の動画や写真を確認することで、話し合いながら振り返ることができるようにする。 ① 交流時の写真と照らし合わせて自分たちの作った玩具の写真と表情カードを選択肢として提示することで、A.RやK.Mが、幼児がどんな様子に見えるかを選んで伝えることができるようにする。 ② 動画や写真を提示することで、幼児と視線の高さを合わせたり、分かりやすい言葉で伝えたりしたことに気付き、自分や友達が相手を思いやりながら優しく関わっていたことを意識し、生活に生かすことができるようにする。 ・各生徒の発表を要約して板書することで、友達の意見を受け入れたり、自分の意見を再確認したりしながら幼児への適切な関わり方について考えることにつなげることができるようにする。 ② 幼児への適切な関わり方について、自分や友達の意見を基にワークシートに書いたり、選択肢から選んだりすることで、まとめることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃ作り表(掲示) おもちゃ作り表(プリント) テレビ パソコン ◎, ○, △シール(A.R) タブレット端末 前時の幼児との交流の写真 玩具の写真 表情カード 動画・写真 思いやりシール ワークシート 関わり方のイラスト
終末 (5)	6 次時について確認する。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 次時では、幼児と関わって感じたことや、幼児が自分の作った玩具で喜んで遊ぶ姿を見てどう思ったかなど、自分の思い出を振り返ることを伝える。 	

学習指導案について

生活単元学習指導略案

令和2年2月7日 金曜日 2校時

小学
指導

全体目標

各教科等の内容から設定

1 単元(題材) 「〇〇たんけんしよう」

2 本時の学習(16/23)

(1) 全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を手に持ち、それらに名称やおおよその役割を表したり、それらを地図や表に表したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現・主体性>
- ② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力>

(3) 個人目標

児童	授業で目指す姿	資質・能力を発揮している具体的な姿
I. R i (4年, 男)	施設の外観や施設内を撮影することができる。	
I. R u (4年, 女)	施設の外観の写真を手掛かりに施設の役割(何をやる場所か)を主語、述語の2語文で説明することができる。	
T. H (4年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストと対応付けて、「泳ぐ。」、「運動。」などの言葉で伝えることができる。	
O. M (3年, 男)	名称を聞いて施設の外観の写真を手掛かりにして、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストを選んだり、動作を交えて伝えたりすることができる。	
H. K (3年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストを選んだり、教師の簡単な質問に「泳ぐ。」、「運動。」などの言葉で答えたりすることができる。	

(4) 実際【①、②は授業で目指す姿(資質・能力)の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5)	<p>※ ログ・役割クイズをする。</p> <p>1 始まりの挨拶をする。</p> <p>2 学習の流れを確認する。</p> <p>3 めあての確認をする。</p> <p>ハートピアは、どんなところ?</p>	<p>・ 商業施設や公共施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示すること、これまでの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>・ 文字とイラストを併せて表示すること、示された内容が分かるようにし、学習の進め方を確認する。</p>	<p>・ フラッシュカード</p> <p>・ ホワイトボード</p>
展開 (30)	<p>4 ハートピアの役割を調べたことについて調べたことを白地図やメモにまとめる。</p> <p>(1) 外観の写真や施設内の写真や動画を撮影し、役割を表す言葉を選んだり、イラストを選んだりする。</p> <p>5 ワークシート【グループ1】CT T.H, O.M</p> <p>【グループ2】ST I.Ri, I.Ru, H.K</p>	<p>のおおよその位置関係を確認することができ写し取りする。</p> <p>① 施設を利用している動画を撮影した施設内の写真や、校外学習時に撮影した施設内の写真や、施設を利用している動画を撮影すること、何をしているかを言葉や動作で表したり、対応するイラストを選択したりすることができるようになる。</p> <p>② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力></p>	<p>・ ワークシート</p>
終末 (10)	<p>6 まとめたことを発表する。</p> <p>7 終わりの挨拶をする。</p>	<p>② 各自で作成したワークシートを手掛かりに、教師の簡単な質問に答えること、まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。</p>	<p>・ ワークシート</p>

資質・能力の評価場面
授業で目指す姿の数字と対応
させて、留意点を記入